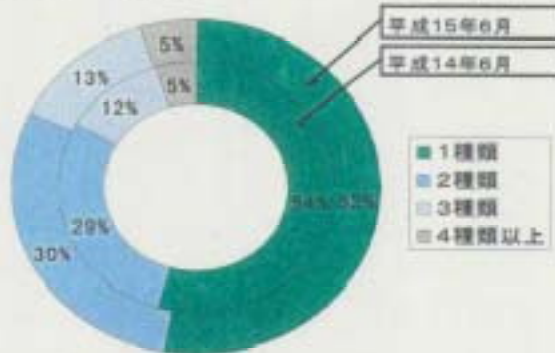
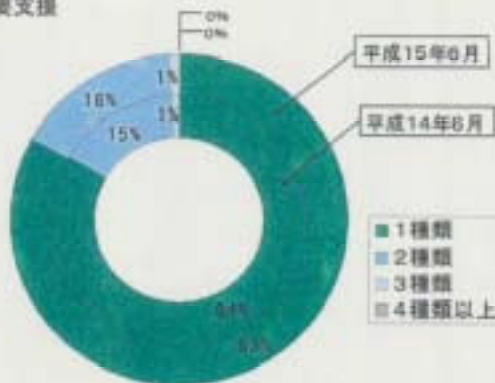


○ 要介護度が高いほど4種類以上のサービスであるケアプランの割合が増加。

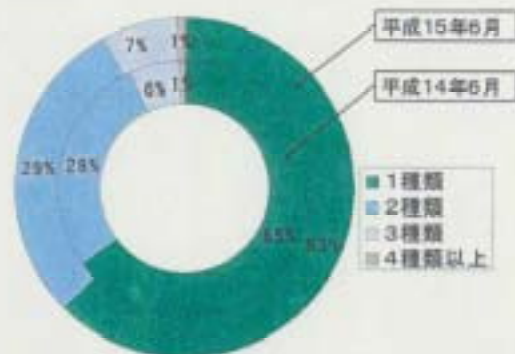
要支援～要介護5



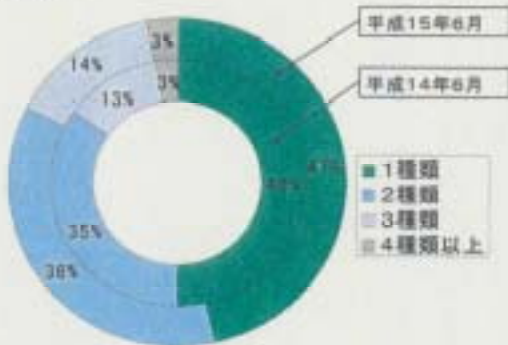
要支援



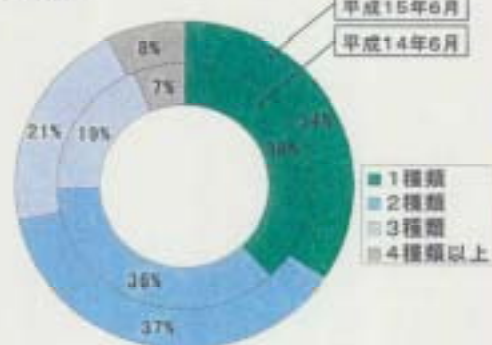
要介護1



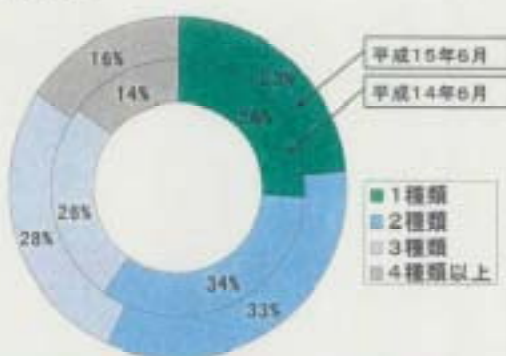
要介護2



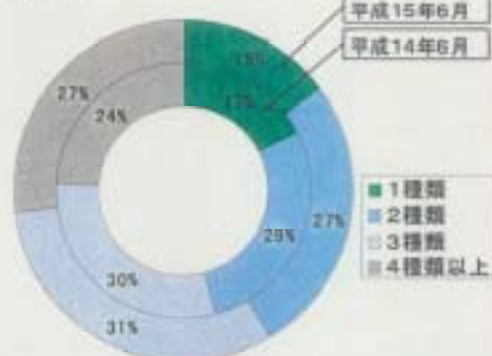
要介護3



要介護4



要介護5



* 介護給付費実態調査

(当調査は、当該審査月に保険請求のあった介護給付費明細書等に基づいて集計しており、一般的に当該審査月の前月がサービス提供月である。)

訪問介護

【介護報酬改定のポイント】

○ 訪問介護の区分の体系的な見直し

適正なアセスメントを図る観点から身体介護と家事援助が混在した複合型を廃止。また、「家事援助」から「生活援助」に名称を改めるとともに、短時間のサービス提供や生活援助について、自立支援、在宅生活支援の観点から重点的に評価。

身体介護

中心型 30分未満 210単位 → 231単位

家事援助

中心型 30分以上1時間未満 153単位 → 208単位

1時間以上 222単位 291単位

○ 訪問介護における減算の算定範囲等の見直し

訪問介護の質の向上の観点から、3級訪問介護員によるサービス提供の場合の減算の算定範囲に生活援助等を追加し、評価を見直す。

算定割合 95% → 90%

○ いわゆる介護タクシーの適正化

要介護1以上の者に対し、通院等のために乗車・降車の介助を行った場合に算定対象を限定して、適正化を図る。

通院等のための乗車・
降車の介助 (新設) → 100単位 / 回

【介護報酬改定後の動向】

○ 一人あたり費用額対前年同期比が（平成15年4～6月）1.1%に推移

| サービス提供月 | 平成14年 | | | 平成15年 1月～3月 | 平成15年 | | | |
|-----------------------|-------|-------|-------------|----------------|-------|------|------|------|
| | 4～6月 | 7月～9月 | 10月～ 12月 | | 4月 | 5月 | 6月 | |
| 1人あたり費用額 (千円/一月平均) | 54.6 | 54.5 | 54.2 | 52.2 | 55.2 | 55.0 | 56.1 | 54.6 |
| (対前年同期比) | 3.1% | 1.7% | -0.4% | -0.7% | 1.1% | 0.3% | 1.1% | 2.0% |

* 介護給付費実態調査

(当調査は、当該審査月に保険請求のあった介護給付費明細書等に基づいて集計しており、一般的に当該審査月の前月がサービス提供月である。)

- 「生活援助中心型」の一人あたり平均請求回数が、(平成15年1～3月)4.7回から(平成15年4～6月)5.4回に増加。
- 複合型の廃止等に伴い、生活援助に要する時間が63.4%に推移。(身体介護よりも大幅な増加。)

訪問介護における一人あたり平均請求回数(一月平均)

(回)

| | 身体介護 | 複合型等(*) | 家事援助 | |
|-----------|------|---------|------|---------|
| 平成14年4～6月 | 5.4 | 4.0 | 4.7 | |
| 7～9月 | 5.5 | 4.0 | 4.8 | |
| 10月～12月 | 5.5 | 4.0 | 4.8 | |
| 平成15年1～3月 | 5.4 | 3.8 | 4.7 | |
| | 身体介護 | 身体+生活 | 生活援助 | 通院等乗降介助 |
| 平成15年4～6月 | 5.1 | 3.5 | 5.4 | 0.3 |
| 4月 | 5.1 | 3.5 | 5.4 | 0.3 |
| 5月 | 5.1 | 3.6 | 5.5 | 0.3 |
| 6月 | 5.0 | 3.5 | 5.4 | 0.4 |

複合型等とは、「複合型」、「身体介護・家事援助」、「複合型・家事援助」の合計
*介護給付費実態調査

訪問介護の延べ総時間数に占める類型別割合



*平成15年6月に通院等乗降介助分は含んでいない。

*介護給付費実態調査より算出

(当調査は、当該審査月に保険請求のあった介護給付費明細書等に基づいて集計しており、一般的に当該審査月の前月がサービス提供月である。)